

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 衣川の四季と郷土の食がスクリーンに —「リトル・フォレスト冬・春」が公開
- 4 【特集】安全な水をお届けするために一水道料金改定のお知らせ
- 8 要介護認定等訪問調査員・介護予防支援員を募集します
- 9 関取目指し角界へ
- 9 百歳おめでとう
- 9 姉妹都市掛川だより
- 10 I L C希望のひかり
- 11 市政ズームイン
- 12 成人式グラフ
- 14 まちの話題
- 16 夢トーク
- 16 青春讃歌
- 17 雨の日も晴れの日も
- 17 市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 18 我が家のアイドル
- 18 子ども喜ぶ人気メニュー
- 19 子そだて広場
- 19 子そだて行事予定
- 20 情報あらかると
- 24 奥州遺産

キラリ輝く
奥州人
16

幅広い年代との交流
それを実現できるステージ

佐藤 賢治さん（43歳）

II 胆沢区小山字大橋II



立ち稽古で台本を手に身振り手振りを交えて演技指導



さとう・けんじ◎昭和46年、胆沢区小山生まれ。水田1ha、畠約20aを耕作する専業農家。米とキュウリを中心に生産を行っている。奥州胆沢劇場の演出を担当。妻と息子、娘、両親の6人家族

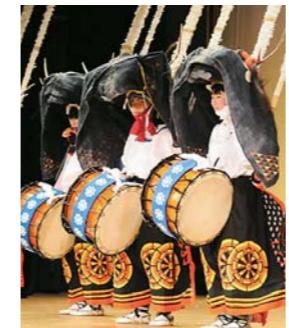
第31回奥州胆沢劇場「黄金の稻穂」の公演向け、胆沢化創造センターでは、キャストによる立ち稽古に熱が入る。今回の公演で、佐藤賢治さんは演出を担当。キャストのせりふや動作に至るまで、細かく演技指導を行つていて。賢治さんが演劇と出会ったのは、高校2年のころ。第5回胆沢町民劇場で、主役に抜擢されたのがきっかけだった。その当時、公演を行つていたのは胆沢総合体育館。「今と同じく冬場の稽古。寒さに震えながら練習しましたね」と

過去の苦労を振り返る。高校卒業後、賢治さんは関東の種苗会社に9年間勤務。演劇とは無縁の生活を送った。その後、平成11年に地元へUTAーン。仲間からの誘いで、第15回公演から再度劇場に携わることになった。

「夢を追い求める若者の苦労、そして周囲との人間関係を如実に表現したい」と、公演にかける熱い思いを語る賢治さん。今回のサブテーマでもある「不撓不屈」の精神で、舞台のフィナーレまで走り続ける。

※2月22日回午前10時と午後3時の2回公演。会場は胆沢文化創造センター

今日の表紙



市こども芸術発表会が1月10日、市文化会館(2ホール)で開催されました。文化庁の文化芸術振興費補助金を活用し、市内伝統芸能の継承に取り組む児童生徒の発表の場としているこの催し。9団体約140人が、琴や日本舞踊、地元の民俗芸能などを披露しました。

写真は、県立岩谷堂高校鹿踊部の岩高金津流鹿踊「島霧」の一コマ。躍動感あふれる踊り手が、所狭しと舞い躍りました。上演が終了すると檀上の雰囲気は一変。この日の演者は、1人を除き全員が女生徒との紹介に、観客から驚きの声と称賛の拍手が湧き起こりました。

衣川の四季と郷土の食がスクリーンに

「リトル・フォレスト冬・春」が公開

リトル
little forest
フォレスト
冬／春
2月14日(土)ロードショー

出演：橋本愛、三浦貴大、松岡茉優、温水洋一、桐島かれんほか
監督・脚本：森淳一
配給：松竹メディア事業部
※「リトル・フォレスト夏・秋」DVD&BD発売中！
©「リトル・フォレスト」製作委員会



衣川区大森を舞台とした「リトル・フォレスト」。昨年8月から公開された「夏・秋編」に続き「冬・春編」が2月14日から全国公開されます。その公開を前に1月28日、先行上映会がフォーラム盛岡で開催されました。この日、盛岡に訪れたのは、監督の森淳一さんと主演の橋本愛さん。お二人から心温まるメッセージをいただきましたので、皆さんにお知らせします。

■問い合わせ：本庁商業観光課口ヶ推進室（江刺総合支所・内線2112）

上映会の会場は「リトル・フォレスト冬・春」をいち早く鑑賞しようというファンで満席に――。上映前、森監督と橋本愛さんが歓声に包まれながら舞台挨拶に登場し、詰め掛けたファンの皆さんに映画の見どころなど話をしました。今回、市は単独取材を敢行。森監督は「普段目にしているものが、こんな風にスクリーンに映るということを感じてほしい」と語り、「口ケでは、

地元の人たちが笑顔で受け入れてくれてありがたかった」と感謝の言葉を口にしました。「穏やかなまちの穏やかな人たちが、厳しさも美しさも全部隠さず生きている。その映像が映画としてまとめられたものだと思います」と衣川の印象を語る橋本愛さんは、撮影期間中に地元の皆さんと触れ合った思い出を振り返りました。

映画「リトル・フォレスト」は、ベルリン国際映画祭に招待されています。「皆さんに待されています。『皆さんと一緒にベルリンに行き、奥州市を紹介します』と森監督は映画祭に向けた思いを熱く語ってくれました。

衣川の自然や郷土の食をふんだんに映し出している「リ

トル・フォレスト」。「若い世代に受け継がれてほしい文化や生活。奥州の1年の風景を記録したこの映画が、何か意味のあるものになってくれたら――」と橋本愛さんは「冬・春編」の公開に期待を込めていました。

橋本愛さんは29日、衣川を訪問。この様子は、2月5日(木)の「めざましテレビ」(岩手めんこいテレビ)で放送されました。

